

歯科材料05 歯科用接着充填材料  
管理医療機器 歯科用知覚過敏抑制材料 70926000

## MSコート Hysブロックジェル

### 【禁忌・禁止】

本材に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと(使用上の注意の項参照)。

### 【形状・構造及び原理等】

以下の構成成分があり、記載の成分を含有します。

構成成分	性状	組成
MSコート Hysブロックジェル	粘性 液体	メタクリル酸メチル/スチレンスルホン酸共重合体、 しゅう酸、水、ふっ化ナトリウム、pH調整剤(カリウム塩)、 増粘剤、その他

付属品: プラスチックニードル

### 【原理】

本材を塗布すると、スルホン酸基を有する共重合体としゅう酸が同時に歯質のカルシウム成分と化学反応してシュウ酸カルシウム結晶を含む高分子保護被膜を形成する。ふっ化物及びカリウム塩も取り込んだこの強固な被膜によって歯質表面及び象牙細管や象牙質に至る微小亀裂の内部を緊密に封鎖する。象牙細管の封鎖が知覚過敏の発症因子である細管内液の移動を抑制するため知覚過敏症を抑制できる。

### 【使用目的又は効果】

象牙質又は形成象牙質の知覚過敏の抑制に用いる。

### 【使用方法等】

#### ①歯面清掃

患部に唾液が付着している場合は綿球等で拭き取ります。患部にプラークが付着している場合はブラシや綿球等で取り除きます。本材の効果を十分に発現させるために歯面清掃はしっかりと行ってください。

#### ②前準備

シリンジキャップを取り外し、プラスチックニードルをシリンジ先端に装着します。

#### ③本材の塗布

本材を患部もしくはその周辺を含む歯質表面に薄く一層塗布し、30秒間以上静置します。なお、1歯あたりの使用量は米粒大が目安です。

#### ④洗口

うがい等で口腔内を十分に水洗します。

※より効果を期待する場合や歯面清掃時に痛みが強くプラークの除去が困難な場合には、別売のフェルトホルダー及びフェルトチップ、または綿球やラバーカップ等を用いて本材を患部に5秒以上こすり塗ります。こすり塗りは以下の方法で行ってください。

#### 1) 前準備

フェルトホルダーの先端部にフェルトチップを挿入します。綿球を使用する場合には患部の大きさに合わせた綿球を用意してください。ラバーカップ等を使用する場合はコントラアングルにラバーカップ等を装着します。

#### 2) こすり塗り

本材を患部もしくはその周辺を含む歯質表面に塗布し(目安: 1歯当たり米粒大)、準備したフェルトチップまたは綿球を用いて5秒以上こすり塗ります。また、ラバーカップ等を使用する場合は、予めカップ内に本材を採取し(目安: 1歯当たり米粒大)、本材が飛散しないように低速回転(目安: 1000回転/min)で5秒以上こすり塗ります。なお、患部が歯肉に接触する部位や歯間部等におよぶ場合にはフェルトチップやラバーカップ等の使用が好ましい。

#### 3) 洗口

うがい等で口腔内を十分に水洗します。

1回(1日)の処置で十分に効果が得られない場合でも来院ごとに数回処置を重ねることで効果が期待できます。

### 【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 歯肉縁下で歯肉再付着を期待する部位には適用しないこと。
- 2) プラキシズムのある患者や大きなWSDの症例には十分な効果が得られない場合がある。

- 3) 本材を使用した部位に接着材を適用すると接着強さが低下する。接着材に「スーパーボンド」或いは「ボンドフィルSB」を使用する場合は「表面処理材グリーン」で10秒間こすりながら歯面処理をすること。
- 4) 本材はフッ素を含有しているためガラス製品との接触を避けること。
- 5) 使用後はすぐに閉栓すること。閉栓せずに放置すると本材が乾燥して詰まる場合がある。
- 6) 保管条件や保管期間によって本材の味が変化することがあるが効果には影響しない。

### 【使用上の注意】

#### 1) 使用注意

- ①他の製品と混合して使用しないこと。
- ②使用中に誤飲させないこと。万一、誤飲させた場合はうがいをさせ、必要に応じて医師の診断を受けさせること。
- ③プラスチックニードルは使い捨てである。

#### 2) 重要な基本的注意

- ①本材の使用により発疹等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診断を受けさせること。
- ②本材に対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本材に触れないようにすること。また本材の使用により過敏症状を起こした場合には医師の診断を受けること。
- ③本材は酸性である。口腔内粘膜や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。付着した場合はすぐに多量の流水で洗浄すること。付着したまま放置すると、例えば口唇の場合は腫れたり、口角の場合は白くただれた状態になることがある。万一、目に入った場合はすぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けること。
- ④本材をフェルトチップ又は綿球やラバーカップ等で歯肉を強くこすると歯肉に炎症を起こすおそれがあるので注意すること。
- ⑤使用するにあたっては患者の個人差も考慮し、症例に適合するかどうかを判断して使用すること。

#### 3) 不具合・有害事象

本材の使用に伴い、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生することがあります。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### 【保管方法】

- ・多湿、直射日光を避け、室温(1℃～30℃)にて保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

#### 【使用期間】

本体に記載の使用期限\*までに使用すること。

[記載の使用期限は、自己認証(当社データ)による。]

※(例 ☐○○○-△△は使用期限○○○年△△月を示す。)

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: サンメディカル株式会社

(本 社) 住 所: 〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2

電話番号: 077-582-9980

フリーダイヤル: 0120-418-303 (FAX共通)

電話受付時間 月～金(祝日を除く)午前9:00～午後5:30

ホームページ: <http://www.sunmedical.co.jp>